

# 瀬戸内海国立公園と大久野島

中国四国地方環境事務所  
統括自然保護企画官 常富 豊

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

# 話題

- 1 瀬戸内海国立公園について
- 2 大久野島の概要と現状
- 3 未来づくりワークショップを開催することとした経緯

# 国立公園の目的

国立公園を規定している法律 → 自然公園法(昭和32年)

目的(第1条)

優れた自然の風景地を**保護**するとともにその**利用**の増進を図り  
もって国民の保健、休養及び教化に資する

国立公園指定の背景 → 昭和9年(1934年)

昭和初期の不況

外貨の獲得

外国人観光客を誘致

**「保護」と「利用」の双方が重要**

# 瀬戸内海国立公園

- 指 定 昭和9年3月16日  
（備讃瀬戸地域中心）  
大久野島は昭和25年に編入
- 面 積 66,934ha（陸域）  
海域を含めると90万haを超える
- 関係府県 11府県  
（大阪、和歌山、兵庫、岡山、広島、山口、  
香川、徳島、愛媛、福岡、大分）
- 特 徴 多島海景観（備讃瀬戸、芸予諸島、防予諸島）  
の海域と展望地  
渦潮・潮流（鳴門・来島・関門海峡）  
人文景観（港町、段々畑、神社）  
熔岩台地と浸食地形、花崗岩山塊

# 瀬戸内海国立公園

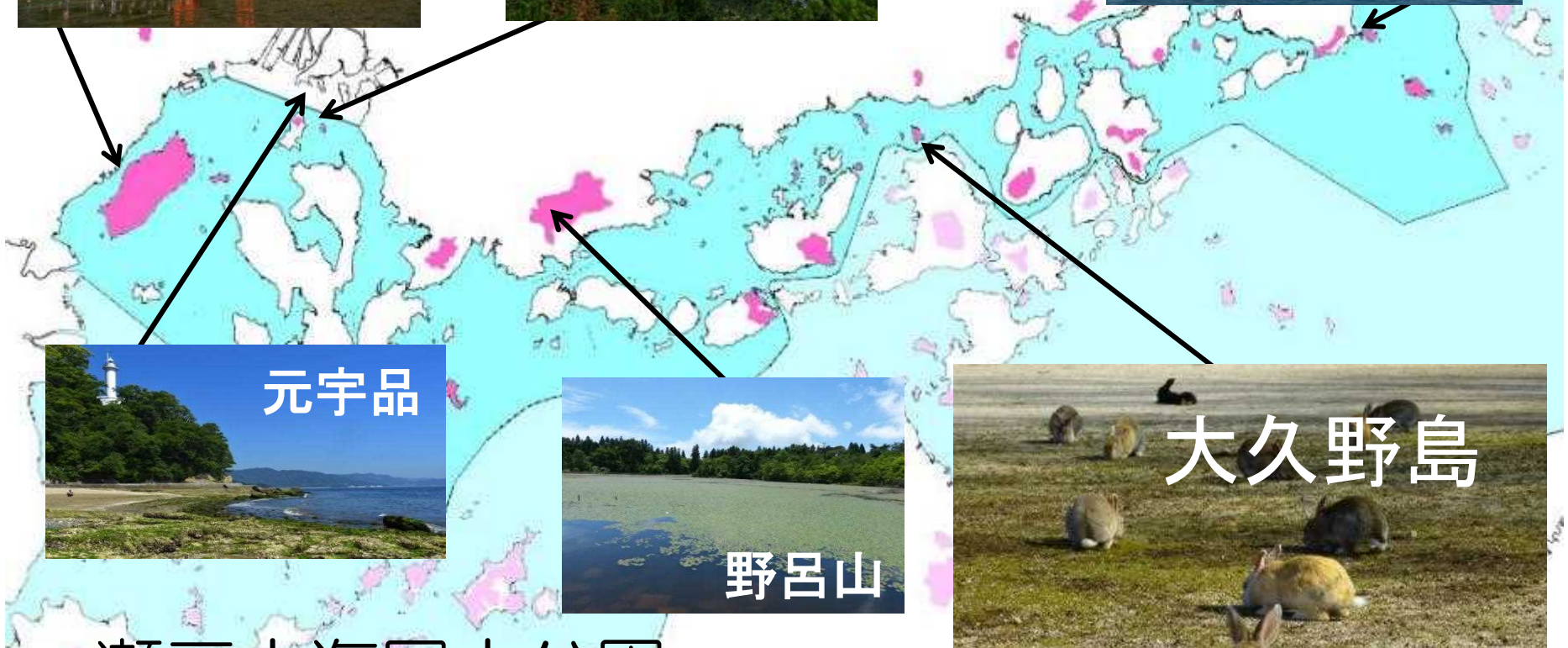


- 日本で最初にできた国立公園の一つ
- 海を含むと日本最大の国立公園





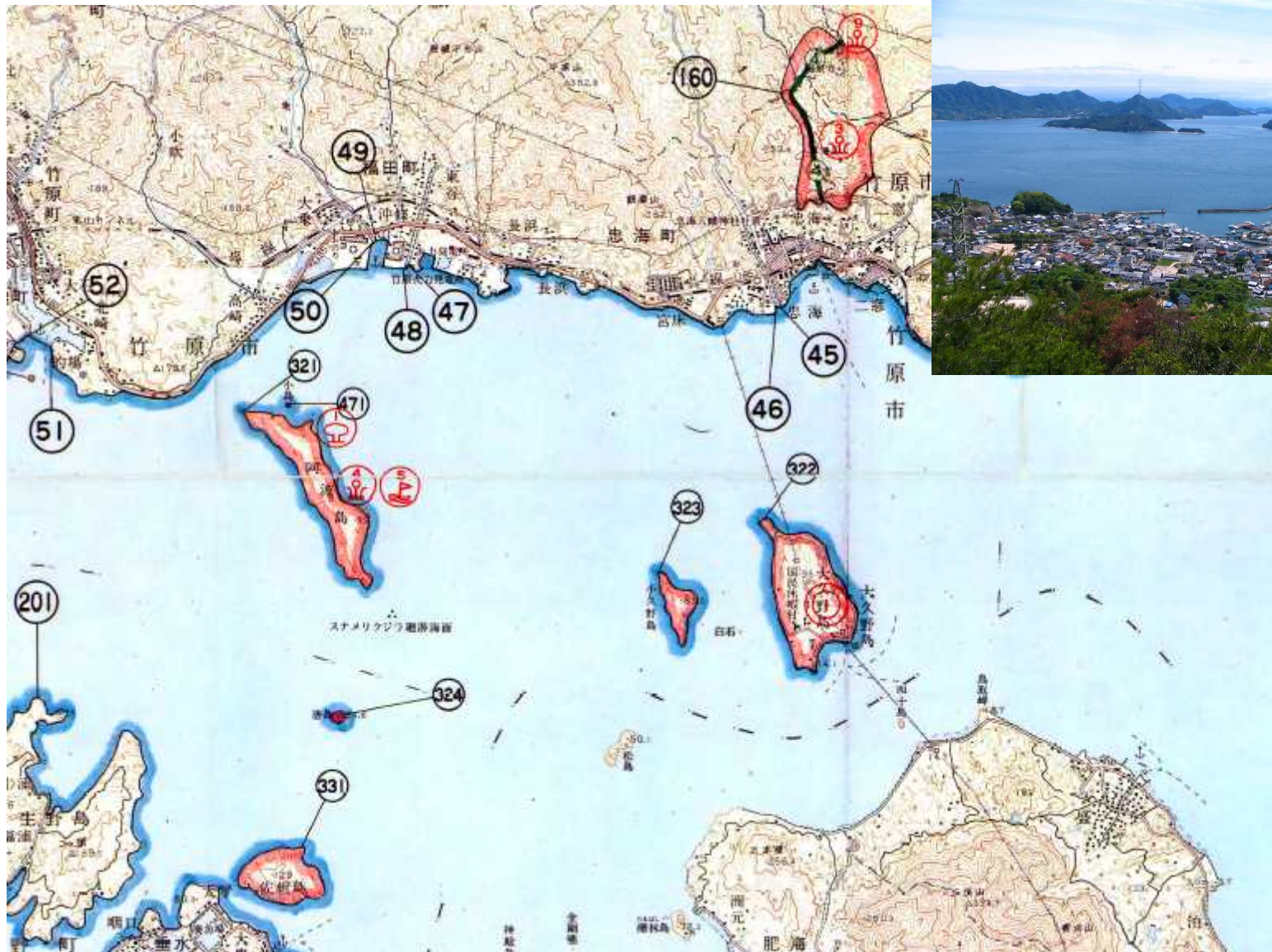




瀬戸内海国立公園  
広島県地域の見どころ



# 忠海付近の国立公園区域





# 大久野島

面積 約70ha

ほぼ全域が環境省所管地  
国立公園の集団施設地区



## 集団施設地区

公園の利用・管理のための施設を総合的に整備し、快適な公園利用の拠点とする地区

### 大久野島集団施設地区

- 瀬戸内海国立公園の中央部に位置し、到達性も良好
- 長時間滞在型の野外レクリエーションや自然とのふれあいの場と位置づけ
- 施設整備にあたっては、島の歴史についても学ぶことができるよう配慮



# 大久野島の整備

- 昭和35年(1960) 国民休暇村の設置が決定  
同年 厚生省の国立公園管理員着任  
(以後3代 S42まで)
- 昭和36年(1961) 財団法人国民休暇村協会設立
- 昭和38年(1963) 大久野島国民休暇村オープン

## 国民休暇村

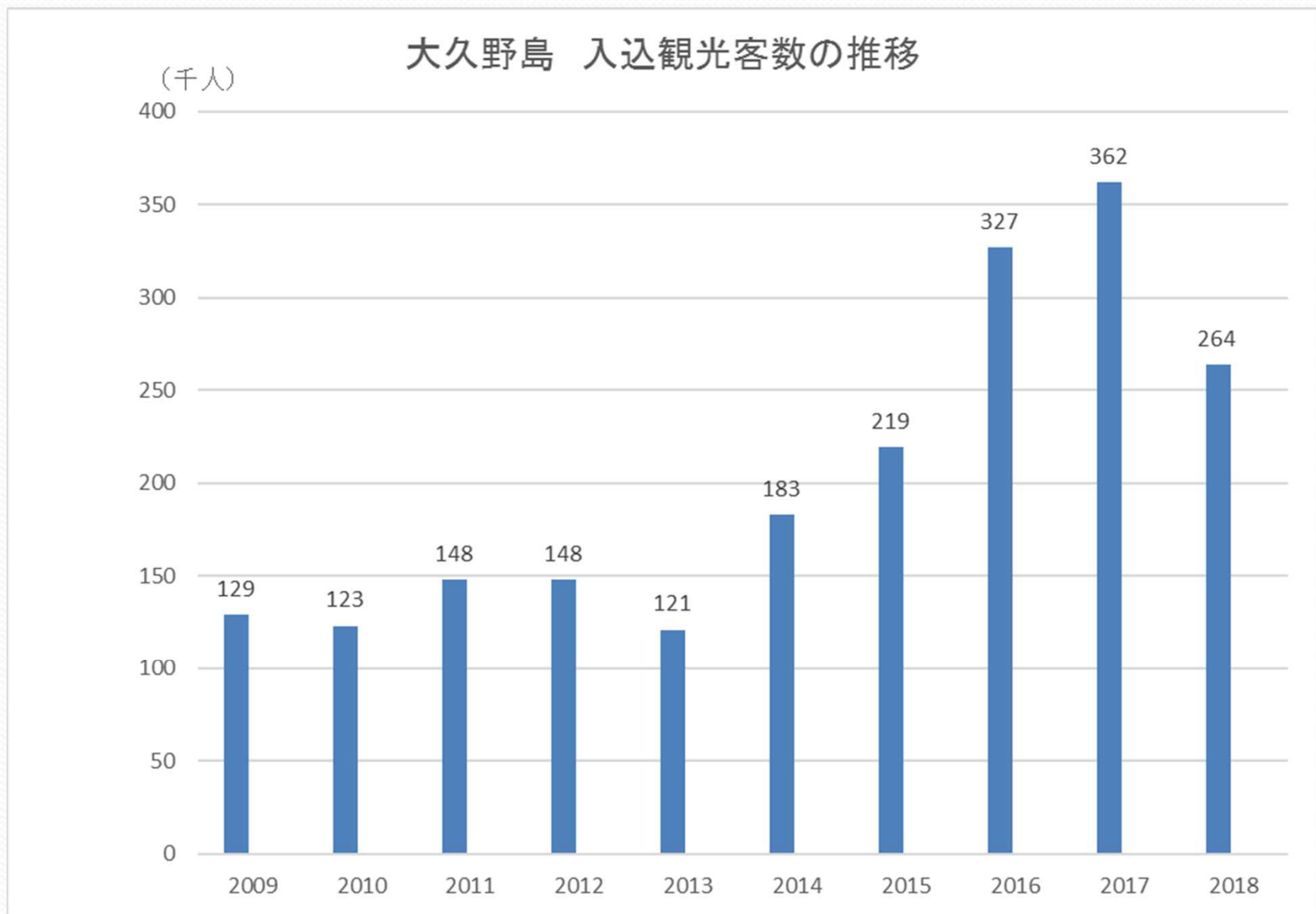
国立・国定公園の集団施設地区に設置された  
総合的休養施設

低廉で健全な宿泊施設と  
地域特性に応じた各種野外  
レクリエーション施設を  
集団的に整備





# 大久野島 最近の入込観光客数の推移(竹原市資料等による)



# 大久野島のウサギ

## 最近の個体数（推定値）

2006年	約300羽	（大久野島ビジターセンター調べ）
2013年	730羽以上	（ 同上 ）
2015年	750羽～1000羽	（Demello et al. 2016）
2018年	920羽以上	（大久野島ビジターセンター調べ）

入込み客数の増加は2014年から

○観光客の増加以前からウサギは増加  
ウサギと人とのつきあい方が変わった  
のはもう少し前から？

（参考：2011年がうさぎ年）



# 大久野島の抱える課題・問題

平成30年度に現状把握調査を実施しました

(課題全般の把握)

- 関係者へのヒアリング
- 来島者アンケートの実施

(ウサギ関係)

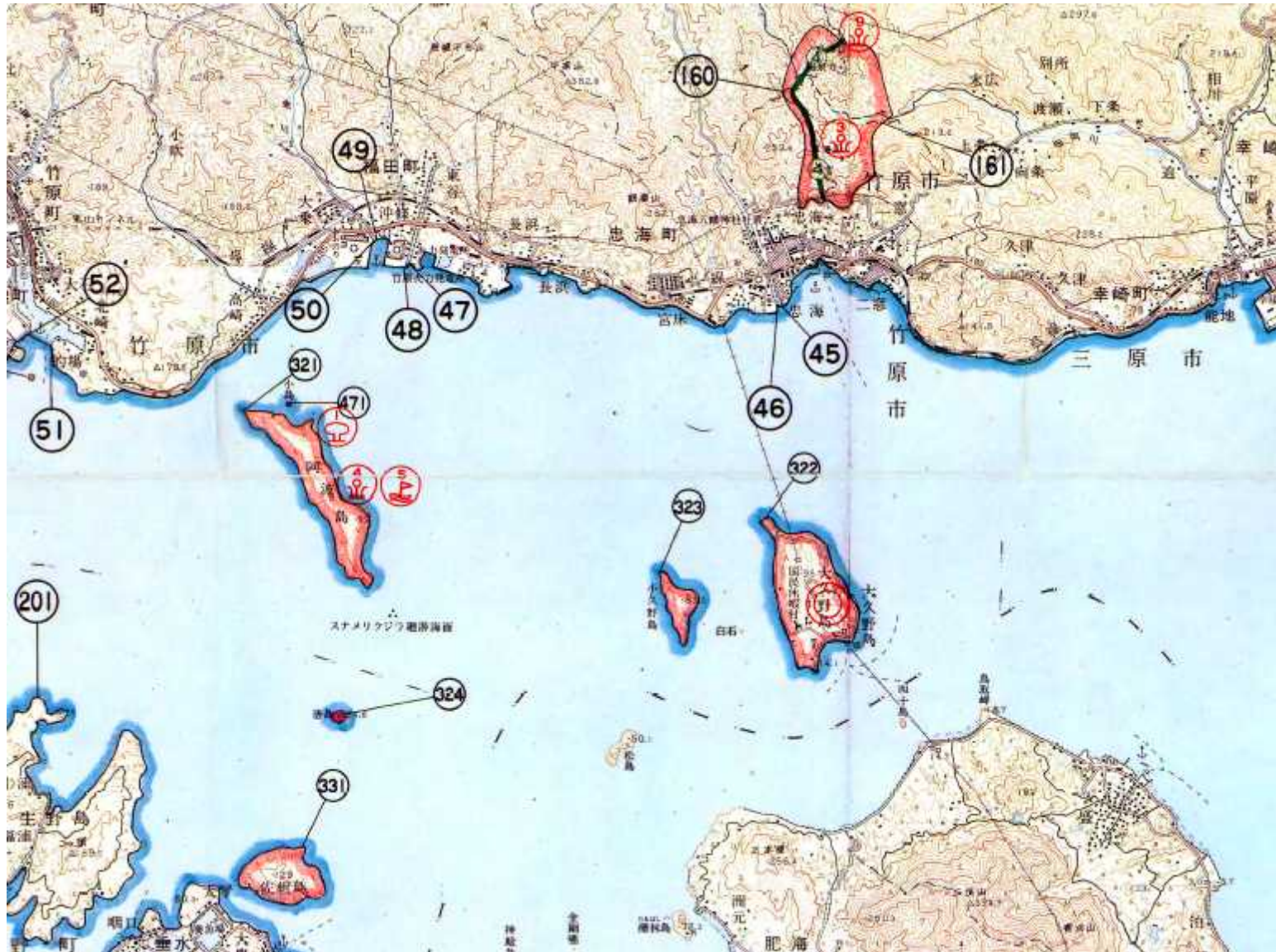
- 個体数調査
- 専門家へのヒアリング
- 健康状態調査
- 感染症媒介動物の生息状況調査



## 見えてきたこと

- 様々な関係者が、それぞれの立場・観点から多様な課題・問題を認識  
→解決に向けて取り組んでいる方もいるが、個別では解決できない事柄が多い
- 島の中のみで対応できる問題はわずか
- 来島者への働きかけが必須

# 忠海付近の国立公園区域





# 大久野島・未来づくりワークショップ

大久野島に関わる人—多数で多様

大久野島が抱える問題・課題—多数で多様

関係者間で

○各々の抱える課題、意識、立場を共有する

○課題解決に向けてのアイデアを持ち寄り、  
皆で考える

○連携して取り組むための関係をつくる

→関係者が協働することによって、  
より幅広い取組につなげたい